

やまりん新聞



リコイルインサート

インサートは断面が菱形の高品質ステンルワイヤースプリング状に巻いて造られたものです。



インサートは相手母材のタップ穴よりひと回り大きく造られていますので、軽く絞り込まれながら装着されます。装着後はバネ作用がはたらいて抜けません。

○補修:

損傷したためねじに対してリコイルインサートは:

- ・最も早く最も簡単な修理方法です
- ・保持力の高い優れたためねじを造ります
- ・最も低コストな修理方法です
- ・損傷前と同じサイズのめねじを再生します
- ・もとのねじより強いねじ山ができます

○補強:

リコイルインサートはアルミニウムやマグネシウム、カーボンファイバー等の軽量素材に使うことにより、十分な組立強

度が確保できます。

○リコイルキット トレードシリーズ:

リコイルキット トレードシリーズは作業に必要な工具類がセットになっているので不意のトラブルにすぐ対処できます(写真1)。



写真1 リコイルキット トレードシリーズ

キット内容

- ・下穴用ドリル・マグネット式折取工具
- ・挿入工具 (M12以下はタップハンドル付き)
- ・リコイルタップ #2(スパークプラグ用はパイロットタップ)
- ・インサート1.5D (入数はサイズにより異なります。6, 10, 15個)

○パイロットタップとは

車やバイクのスパークプラグポート、オイルパンの修理に便利なパイロットタップ。損傷したためねじにドリルを使用することなく、1本で垂直にオーバーサイズのタップを立てる事ができます。

○リコイルインサートの材質

通常304ステンレス鋼(18-8)ですが、特殊な用途向けに次の材質のインサートも製造しています。

- SUS316、インコネルX-750(AS7246)
- りん青銅、ナイモック90

カスタム仕様の加工部品7

今回は、お客様のご要望にもとづき、製作させていただいた3種類の「カスタム仕様の加工部品」をご紹介します。



M12P=1.25

3種類ともに、丸棒の材料からお客様ご指定の形状に加工しています。

写真2は両ねじシャフトです。片側に袋ナットをねじ込み、他方をフランジナットで締め込むことにより、首下の長いボルトの代用として使用されます。

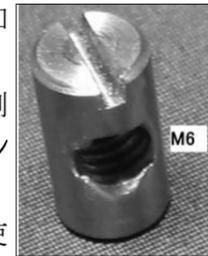


写真3 スリリ付き丸ナット

写真3は丸棒の横側にM6めねじがあるスリリ付きの丸ナットです。市販品ではなさそうなサイズのため 切削加工で製作しました。



M6 P=1.0

写真4はM9 P=1.0のねじ側に六角穴のあるフラット頭のねじ

六角穴

です。六角穴形成用の専用ツールにて加工しています。

お客様からの寸法のご指示にもとづく製作だけでなく、お預かりしたサンプルを採寸して、同等品の製作も承っております。専任のスタッフが対応させていただきますので、お気軽にお尋ねください。

ねじの雑学

先日滋賀県でプラコの金具が折れて小学生が落下、大怪我をする事故が起きました。折れた部品の拡大写真が公開されていましたが、この部品はシャックル(写真5)というものです。正式名は分かりませんがU字型部品とねじ部品の2種類の部品で構成されています。



写真5 シャックル

通常シャックルはワイヤで吊り荷をするときに使用されます。シャックルのねじ部品を抜き差しすることで、ワイヤの取り付け、取り外しが簡単にできるためです。しかしながら安全対策を怠ると大(左下へ)

(右上から) きな事故につながります。今回の事故では、ねじ部品が金属疲労や錆で劣化していた可能性があり、点検だけでなく安全上重要な部品は定期交換する等の対策が必要ではないかと思えます。



写真6 駅名表示板

このように、普段はあまり気にかけていないねじですが、事故が発生すると、その重要性が改めて注目されます。ねじ業界では「たかがねじ、されどねじ」といいますが、まさしくこのことですね。

以前、JR京都駅の駅名表示板で写真6(拡大写真7)のようにワイヤが数ヶ所装着されていました。これはおそらく看板をとめているボルトが脱落あるいは折損しても、最悪看板が落下しないようにするための安全策ではないかと推測します(ひょっとして盗難防



写真7 駅名表示板(写真6の○部拡大)

止用?)。人目につかない部分ですが、万が一の事故に備えた安全対策が重要ですね。

ITへの扉(入門編) No.10

今回は、前回作った下記サンプルサイトのソースコードを使って遊んでみます(※1)。

<https://www.ymzcorp.co.jp/yamarin/test1.html>

まずウェブページのソースコードをパソコンに保存してください。ファイルの拡張子は必ず.html(あるいは.htm)にしてください。ここではソースコードがパソコンに保存されていることを前提とします。やり方はブラウザにより異なりますので、分からない方はネットで「html ソースファイル 保存」等で検索するか、パソコンのことをよくご存知の方に聞いてみてください。

保存したソースコードをメモ帳で開き図2のコードが表示されればOKです。そして、保存したファイルのアイコンをダブルクリックしてブラウザを起動すると、図1のように表示されると思います。通常はブラウザからウェブサーバーにアクセスしてページを表示するので

すが、今回はローカルのファイルをブラウザで見ているので、本来のブラウザの使い方とは違いますが、ソースコードがHTMLやCSSのみで構成されている場合にはブラウザで閲覧できます(※2)。

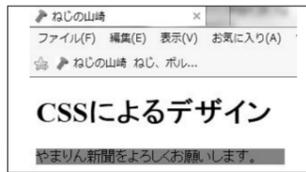


図1 test1.html画面表示

次に、メモ帳(※3)で開いている図2のソースコードの「background:#ff0000;」という部分の「#ff0000」を「#00ff00」に変更してください。変更したファイルを上書き保存します。

そして、ブラウザで最新の情報に更新するか、アイコンをダブルクリックしてブラウザを起動すると、「やまりん新聞を…」という部分のバックの色が赤から緑になりました。

変更前のbackground:#ff0000は「バックを赤にする」というCSSの設定です。#ff0000は、光の三原色であるR(Red)、G(Green)、B(Blue)の割合を8bitでRed:ff、Green:00、Blue:00(赤:100%、緑:0%、青:0%)と3つ並べて表現したカラー

コードです。ffというのは16進数の数値で、10進数では255(8bitで表現できる最大値)です。

R、G、Bの数値を色々変えて試してください。また、8bit、16進数については別途解説予定です。興味があるかたはネットで調べてください。

- ※1 ある程度パソコンに慣れた方で、HTML、CSSに興味のある方に向けた作業です。作業は自己責任で行ってください。
- ※2 Javascript等を利用している場合には正常に見ることができません。
- ※3 WORDなどのワープロソフトは使えません。

```
<!doctype html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8">
<title>ねじの山崎</title>
<style type="text/css">
p.pl{
float:left;
width:280px;
margin:0px;
background:#ff0000;
}
</style>
</head>
<body>
<h1>CSSによるデザイン</h1>
<p class="pl">やまりん新聞をよろしくお願ひします。</p>
</body>
</html>
```

図2 test1.htmlのソースコード